

令和4年度 第4回岡崎市入札監視委員会 定例会議 議事録

1 会議の日時 令和5年2月3日(金) 午後2時00分～午後3時00分

2 会議の場所 岡崎市役所 西庁舎7階 702号室

3 出席委員 委員長 宇野 勇治(大学教授)
(委員数4) 委員 櫻井 敬子(弁護士)
委員 太田 成紀(公認会計士)
委員 村林 聖子(大学非常勤講師)

4 出席した事務局職員

戸谷総務部長

出契約課長

黒柳主幹、井澤主任主査、岩井主任主査

水越主任主査、佐藤主査

5 概 要

(1) 総務部長あいさつ

(2) 報告事項

- ・入札及び契約手続の運用状況(対象期間:令和4年10月～12月)
- ・入札参加停止の状況(対象期間:令和4年10月～12月)

(3) 抽出対象工事等の審議

対象期間:令和4年10月～12月

- ・一般競争入札 6件
- ・指名競争入札 3件
- ・随意契約 1件

(4) その他

- ・意見書の内容について
事前に確認した内容のとおりとした。
- ・次回の定例会議について
次回の定例会議の日程は令和5年5月の連休明けを予定。

<主な質疑>

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>【抽出案件の審議】</p> <p><u>1 岡崎城跡石垣測量業務(岡崎市康生町地内)</u></p> <p>○落札率が低い要因は何か。</p> <p><u>2 下水道管路施設耐震診断業務(岡崎市康生町ほか9箇町地内)</u></p> <p>○落札率が低い要因は何か。</p>	<p>○本業務は、岡崎城跡の石垣を測量するもので、現況の石垣を正確に把握するため、写真測量及びレーザー計測の手法により石垣立面図を作成するものです。また、計測による石垣の三次元データは、今後の利活用のため記録・保存します。</p> <p>株式会社イビソクは岡崎城跡の石垣測量業務を過去5年で数多く受注しているため受注意欲が高く、結果落札率が低くなったと推察されます。</p> <p>○本業務は、下水道総合地震対策計画に基づき、重要な路線についての下水道施設の耐震性の有無を判定するもので、業務内容は対象施設の耐震計算、耐震診断、対策工法の検討になります。この診断業務の結果により、点検調査、実施設計、改築工事の順で耐震化を図っていきます。</p> <p>コンサルタント業務の発注基準は、予定価格1,000万円以上は一般競争入札、50万円以上1,000万円未満は一般競争入札または指名競争入札を基本としており、1,000万円以上でも入札参加可能業者に市内業者が含まれる場合は、市内優先調達の観点から指名競争入札としております。</p> <p>この業務は予定価格1,000万円以上であるものの、難易度も標準的であることから市内業者3者、市外業者3者の6者による指名競争入札で発注しましたが、入札金額が低い4者と入札金額の高い2者に分かれ、受注意欲の差がはっきりとした入札となりました。</p> <p>くじに参加した4者すべて、過去に類似業務を受注しており、ノウハウも蓄積し受注意欲も高いことから、競争性が高まり落札率が</p>

3 道路維持修繕工事(岡崎市山綱町ほか8
箇町地内 市道山綱25号線ほか9路線)

○落札率が高い要因は何か。

低くなったと推察されます。

○本工事は、岡崎市東部地区にて道路の舗装、排水溝及び法面等の修繕を行う工事です。

6者が入札参加しましたが、1者無効、3者が失格となりました。無効となった株式会社愛幸工務店は入札時に添付している工事費内訳書の工事価格が入札額と相違していたため無効となりました。失格となった株式会社金井組と有限会社山幸は最低制限価格を下回り失格となり、日本パインウッド株式会社は建設業法第27条の23第1項に規定されている経営事項審査の有効期限が過ぎていたため失格となりました。業者により、受注意欲に大きな差があり、結果的に受注意欲が高かった業者が無効又は失格となったため、落札率が高くなりました。

4 市民税・県民税課税資料整理及びデータ
入力業務(岡崎市指定場所)

○落札率が高い要因は何か。

○本業務は、例年1月ごろから各事業所より提出される給与支払報告書を主とした9万件ほどの紙の課税資料を市役所内の指定場所にて、仕分け、整理、補記、スキャンを行い、その後受注者の事業所にてデータ入力するものです。

6者の指名競争入札で実施し、入札金額が低い2者と入札金額の高い2者、辞退2者に分かれ、受注意欲の差がはっきりとした入札となりました。

SCSKサービスウェア株式会社と日本情報産業株式会社の2者は、過去に同業務の受注実績があることから受注意欲が高かったものの、最低制限価格を下回り失格となりました。

その結果、入札金額の高い共立コンピューターサービス株式会社が受注し、落札率が高くなったと推察されます。

5 道路整備工事(その8)(岡崎市末広町

地内 市道日名南町4号線)

○参加者が多い要因は何か。

○本工事は、地元からの要望により、老朽化した道路側溝の布設替えを行う工事です。

16者の入札参加申し込みがあり、1者が辞退、5者が最低制限価格を下回り失格、1者が参加申込みをしたものの入札に参加しなかったため棄権となっています。8者が最低制限価格と同額であったため、くじの結果、ティー・エス・ロード株式会社が落札しました。一般的な道路整備工事のため難易度も低く、交通規制に影響を受ける人も限られ調整が容易であるため、参加者が多くなったと思われます。

6 岡崎駅東土地地区画整理事業 都市計画道路柱町線ポンプ設備築造工事(岡崎市柱一丁目ほか1箇町地内)

○不調になった要因(参加者がいなかった要因)は何か。

○本工事は、都市計画道路柱町線のJR東海道本線と交差するアンダーパス部分に雨水を排水するためのポンプ設備及び排水管渠を設置する工事です。

この工事は技術者の専任を要する工事となります。ポンプ設備は工場製作に期間を要することが予想され、その間も技術者は専任となり、他の工事に従事することができません。

また、別で道路改良工事が施工中で、工程管理も制約を受けるため、敬遠され、入札参加者がおらず、不調となったと思われます。その後、ポンプ設備工と排水管渠工を分離し、再度入札に諮っています。

7 岡崎中央総合公園総合体育館中央監視装置改修工事(岡崎市高隆寺町地内)

○契約金額が高い要因は何か。

○本工事は、施設の老朽化に伴う保全工事で、自動制御設備の中央監視装置に不具合が生じ施設運営に支障をきたしているため、改修工事を行うものです。

錬成道場の地下1階中央監視室と1階事務室に設置している正・副の中央監視装置の更新と、武道館、体育館、錬成道場の各機械室内に設置している制御盤内のリモート装

置 2 3 箇所を更新を合わせて行うため契約金額が高くなりました。

この入札は総合評価落札方式で執行し、3 者が参加した結果、入札額では 2 番手ですが、評価点で優れていた武田機工株式会社が評価値で上回り、落札しました。

8 岡崎市民病院駐車場整備設計業務（岡崎市高隆寺町地内）

○契約金額が高い要因は何か。

○本業務は、岡崎市民病院において既存駐車場の駐車可能台数が 600 台に対し、外来患者数が 1 日約 1,400 人の他、委託業者や物品納入業者などが利用しており、絶対的に駐車台数が不足していることから、生産者の減少に伴い不要となっている病院北西部に位置する農業用ため池を駐車場として造成・整備するため、必要な測量設計を行うもので、測量対象面積が 20,000 m²と広く、地質調査もあり設計金額が高額となっています。

この業務は予定価格 1,000 万円以上であるものの、難易度も標準的であることから市内業者 6 者による指名競争入札で発注しましたが、9 月議会での補正により急遽発注することになった業務で、工期も余裕がないことから落札率も高めとなり、契約金額も高くなったと推察されます。

9 岡崎市民病院病棟地下 1 階厨房洗浄室改修建築工事（岡崎市高隆寺町地内）

○随意契約とした理由は何か。

○本工事は、老朽化した厨房洗浄室の内部改修を行うものです。

当初は一般競争入札を行いましたが、厨房を運営しながらの工事で、夜間作業や厨房機器の養生など通常工事よりも条件の厳しい作業が多いことから、入札参加者がおらず不調となりました。

この工事は他工事との工程管理上工期を変更することができず、入札を実施する時間がなく至急の施工が必要なため、小原建設株式会社と随意契約を締結したものです。小原建設株式会社は当院の病棟を建設した業者で、改修や修繕なども行っており、院内の状

況に精通していることから、工事実施に当たって必要な現場調査を大幅に短縮することが可能で、期間内で安全に迅速で正確かつ効率的に実施できるため選定しました。

10 道路照明灯塗装工事（岡崎市鴨田町地内）

○不調になった要因（全者が最低制限価格を下回った要因）は何か。

○本工事は、経年劣化した信号柱、分電盤及び歩道照明灯の塗装を更新する工事です。

2者が入札に参加しましたが、2者とも、最低制限価格を下回り、失格となったため、不調となりました。その後、再入札に付す時間的余裕がなかったため、随意契約の手続きに入りました。通常は設計に齟齬がないか、品質、安全管理に問題はないか確認を行った上で最も低い価格の入札額を提示した事業者と随意契約を締結するのですが、該当の株式会社フジケンハウジングが入札参加資格者名簿の塗装工事に登録が無く、入札参加資格を満たしていなかったため、2番手のモバイルプランニング株式会社と入札額で随意契約を締結しました。